

岳連
ニュース

宝 永

URL: <http://www.shizuokam.com>(一社)静岡県山岳・スポーツ
クライミング連盟〒422-8076
静岡市駿河区八幡3-1-17
TEL(FAX) 054-288-7512
編集発行/総務委員会
令和7年6月23日発行

第51号

令和7年度定時総会
事業計画、予算
理事選任等決まる

令和7年度の定時総会が、5月17日静岡市の「あざれあ」で開催され、令和6年度の事業報告・会計決算報告、令和7年度の事業計画案・収支予算案、理事選任案が加盟団体代表者や個人会員の出席のもとで審議された。

木ノ内会長から「昨年度は、山岳部門での各登山教室、冬山講習会、スポーツフェスタなど多くの参加者による事業となった。クライミングでは、佐賀県国民スポーツ大会での少年女子の大活躍があった。様々な課題を抱えているが、山岳部門とスポーツクライミングの県内統括団体として、自然環境保護を含めた課題

解決を目指し連盟の更なる発展を図っていきたい。」との挨拶があった。

【事業報告・決算報告】事務局長が総務関係の説明し、指導遭対・競技・国際関係を各委員長から説明が行われた。特に、第1回「TAKAKUSA山岳レース」が竜爪山から会場を移して、初めて高草山で開催され、高校生19名(男子11名、女子8名)の参加のもとで実施できた旨報告があった。採決が行われ、異議なく承認された。



収支決算では、登山教室で新たな指導員を養成する費用を支出したこともあり4万703円の赤字となったとの決算報告があった。

【理事・監事の選任】理事の変更について提案があり、採決の結果、選任案は異議なく承認された。

【報告事項等】本年度のスポーツフェスティバル登山大会は東部ブロックが担当、10月5日に富士山水ヶ塚で開催を計画している。登山期間外での富士山



否を検討すること、国民スポーツ大会東海ブロック大会は本県担当で、7月19日、20日に開催予定の旨が説明された。

収支予算については、その他前年度決算を参考にして作成したが、管理経費の増などで、全体としては8万8千700円の赤字を見込んでいる。それぞれ採決が行われ、事業計画案と収支予算案は異議なく承認された。

令和7年度主要事業計画

の登山について質問があり、理事長からは、登山を禁止することはできないし、冬山登山を活動としている山岳団体としては、登山届を出して、入

山することは問題ないと考えているとの回答があった。
(鈴木雅春)



山岳レスキュー講習会	2025/7/12(土)	静岡市あざれあ
夏山登山教室 座学Ⅰ 装備・読図等	2025/9/17(水)	静岡市あざれあ
夏山登山教室 中央アルプス 空木岳	2025/9/27(土)~28(日)	空木岳
指導者研修会(兼スポーツ指導者資格更新研修会)	2026/1/25(日)	未定
第65回冬山登山講習会	2026/1/31(土)~2/1(日)	富士山双子山周辺
第63回登山指導者講習会	2026/1/31(土)~2/1(日)	富士山双子山周辺
雪山を楽しむ講習会 座学(雪山の楽しみ方と安全心得・装備知識)	2026/2/12(木)	未定
雪山を楽しむ講習会 実習 ミツ峠山	2026/2/22(日)	ミツ峠山
アイス・クライミング体験教室 裏ミツ峠	2026/2/15(日)	裏ミツ峠
第79回国スポSC競技静岡県予選会	2025/4/26(土)	ブルーキャニオン・サニーロック富士
第46回東海ブロック大会	2025/7/19(土)~7/20(日)	静岡県
第79回国民スポーツ大会	2025/10/3(金)~10/5(日)	滋賀県
第27回県高校クライミング競技大会(兼全国高校選抜大会選手選考会)	2025/10/25(土)	スクエアクライミングセンター
第16回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会	2025/12/20(土)~12/21(日)	加須市民体育館
第19回静岡県高等学校・ユースボルダー競技大会	2026/1/10(土)	GRIMO
クライミングコンテスト 9月大会	2025/9/23(火)	スクエアクライミングセンター
クライミングコンテスト 11月大会	2025/11/24(月)	ブルーキャニオン富士
クライミングコンテスト 2月大会	2026/2/11(水)	スクエアクライミングセンター
クライミングコンテスト 3月大会	2026/3/28(土)	サニーロック富士
第2回TAKAKUSA山岳レース	2025/12/7(日)	高草山
第19回しずおかスポーツフェスティバル登山大会	2025/10/5(日)	富士山 水が塚周辺
山の日記念行事「第8回南アルプス写真展」	2025/10/14(火)~10/19(日)	静岡市役所市民ギャラリー

第79回国スポ静岡県予選会

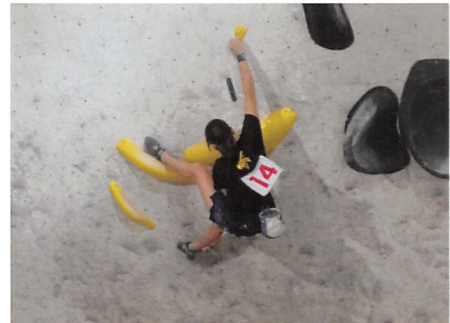
ブロック大会 国スポの健闘を期待



国民スポーツ大会スポーツクライミング競技の予選会が25名(内ユース男子2名、ユース女子4名含む)の参加を得て、4月26日の午前中にサニールock富士でボルダー競技、午後にはブルーキヤニオンに移動してリード競技が行われました。本年度(本大会・滋賀県)は、県で選抜された選手が直接本大会に行ける種別は、成年男子が該当し、残りの3種別(成年女子・少年男子・少年女子)は7月19日・20日に本県で行われる東海ブロック大会で本大会への代表枠をかけて争います。

ボルダー競技は4課題のベルトコンベア式で行われました(男子種別、女子種別それぞれ共通課題)。まず、少年女子は、4完登をした堀内さんと伊藤さんが1位、3完登の狩野さんが続いた。少年男子は、3完登した宮川君が1位、2完登の舩越君が2位につけた。成年男子は、静岡としては高校生時代以来の出場の藤井さんが全完登で1位、成年女子は中里さんが3完登1位で通過した。

午後、リード競技は、男子は、メイン壁の右側から距離を出しながら真上にぬける共通ルートで、確信をもった登りで成年男子の藤井さんが完登1位で完全優勝。少年男子の舩越君も完登し、ボルダー1位の宮川君と優勝を分けあった。女子も共通のルートで、メイン壁の左側をからトラバースの入るルートで、少年女子の堀内さん、狩野さん、山本さんとユース女子の蒔田さんの4名が完登し、



少年女子では堀内さんが初の予選会優勝となった。

種別	氏名	リード				ボルダー							
		手数	付記	計時	順位点	1	2	3	4	合計	順位点	順位相乗	順位
ユース男子	岡部 蒼空	22	+	2:30	1	25	0	10	0	35	1	1	1
	矢澤日向汰	18	+	1:27	2	0	0	0	0	0	2	4	2
ユース女子	蒔田 遙	TOP		4:19	1	0	25	9.9	24.5	59.4	1	1	1
	鈴木 希実	33		4:16	2	0	9.9	0	9.9	19.8	2	4	2
	酒井 汐梨	22		3:44	3	0	9.9	0	9.8	19.7	3	9	3
	井手 椰々	18		1:57	4	0	0	0	0	0	4	16	4
少年男子	舩越 琉生	TOP		3:33	1	25	0	24.9	0	49.9	2	2	1
	宮川 幸大	40	+	3:25	2	25	25	25	0	75	1	2	1
	中川琥大朗	34		2:49	3	25	0	9.7	0	34.7	3	9	3
	川口 太造	30	+	2:35	5	24.9	0	0	0	24.9	4	20	4
	岡部 星輝	33		3:30	4	0	0	10	0	10	5.5	22	5
	増井 魁人	16	+	1:59	6	10	0	0	0	10	5.5	33	6
	新井 千咲	1	+	0:71	7	0	0	0	0	0	7	49	7
少年女子	堀内 優里	TOP		3:05	2	25	25	25	24.8	99.8	1.5	3	1
	狩野 風	TOP		3:37	2	24.9	25	9.7	25	84.6	3	6	2
	山本 唯菜	TOP		4:20	2	9.9	24.8	10	10	54.7	4	8	3
	伊藤 未唄	38	+	2:50	7	24.9	25	25	24.9	99.8	1.5	10.5	4
	佐野 愛莉	41		4:10	4	9.7	24.9	9.2	9.7	53.5	5	20	5
	込山 虹来	40	+	3:25	5	0	25	9.9	9.8	44.7	6	30	6
	谷 麻亜紗	40		3:56	6	0	25	0	10	35	7	42	7
成年男子	藤井 快	TOP		3:21	1	25	24.9	25	25	99.9	1	1	1
	鈴木 大翔	39	+	4:03	2	25	0	24.9	9.8	59.7	2	4	2
	中里 溪夏	40	+	3:28	1.5	25	25	25	9.9	84.9	1	1.5	1
成年女子	鈴木 結菜	40	+	3:46	1.5	24.6	25	0	9.8	59.4	2	3	2

【少年男子】1位 舩越 琉生 1位 宮川幸大
【少年女子】1位 堀内 遥 2位 狩野風
【ユース男子】1位 矢澤日向汰 2位 岡部蒼
【ユース女子】1位 蒔田遙 2位 鈴木希実
(諸戸明)

(4ページからの続き)、100万円が県岳連に寄贈されたもので、事業基金のように事業に充当することはできない性格の基金である。

(事業計画)

- ・カレンダー作成は、見積により実施の可否を決める。
- ・山の日の事業は、写真展を充てる。(共催)
- ・夏山、秋山教室を一本化して実施。コロナ禍以降多人数の小屋確保が困難。
- ・アイスクライミングは要望もあることから実施。
- ・登山教室の参加者が知識習得を避けて、単に連れて行ってもらうだけの傾向がある。

(予算)

- ・登山教室で若干の黒字、カレンダーで5万円の黒字を見込んでいるが、管理費に基金取崩金10万円を充てても、全体で88千円の赤字の予算。

【質疑】

- ・個人会員の年会費3千円は安すぎないか?
- ・他県の会費例を参考に定めている。個人会員が減少する恐れがある。

(鈴木雅春)

第73回県高校総体登山競技 全国総体出場 藤枝東(男子) 静岡(女子)

5月24・25日、第73回静岡県高等学校総合体育大会登山競技が湖西連峰で行われた。男子14チーム、女子10チームが全国総体及び東海総体への出場権をかけて熱い戦いを繰り広げた。

1日目は、梅田公園をスタートし、神石山、多米峠を越え大知波峠を通り、おちばの里をゴールとするコースであった。昨年からは2名の看護師が帯同し、救護にあたっていた。登山行動中は、この時期には珍しく、気温の上昇もなく、風が吹いて選手の身体的な負担を軽減した。下山後は、



知波田小学校において設営審査を行い、体育館にて装備審査を行った。例年、下山後は装備審査、設営審査の順に審査を行うが、天候が崩れるとの予報だったため、順番を入れ替えて実施した。炊事審査は雨天の影響で実施せず、設営審査後はテントを撤収し、選手は体育館に宿泊した。翌朝、静岡地方気象台から雷注意報が発表されており、選手は待機を余儀なくされた。その後も、雷注意報は解除されず、登山行動は取りやめ、審査員長から審査終了宣言が発表された。

雷注意報が解除されず、2日目の登山行動がなく、残念に思った選手も多かったのではないだろうか。多くの審査が実施されず縮小された大会となったが、実施された審査項目で順位を確定した。

男子は、優勝した藤枝東98.4点と2位の富士98.3点で点差はわずか0.1点差。僅

差で藤枝東が8年ぶりに優勝を果たした。女子も優勝した静岡97.3点と2位の富士97.2点で点差は0.1点差と接戦であった。昨年、準優勝だった静岡は雪辱を果たし初優勝とした。今年の代表チームは、行動、生活、知識、読図技術と全てにおいて高得点を取っている。これらのチームが全国総体、東海総体に出場するとなると、上位入賞に期待がもてる。

本大会の入賞校は次のとおりである。

【男子】優勝 藤枝東 98.4
2位 富士 98.3
3位 沼津 98.0
4位 静岡 97.1
5位 富士宮西 94.7
6位



浜松北 90.5
【女子】1位 静岡 97.3
2位 富士 97.2
3位 藤枝東 95.0
4位 富士宮西 94.2

クライミングコンテスト3月大会 宮川(男子) 堀内(女子)優勝

3月20日に富士市のサニロックにて、今年度最後のクライミングコンテスト3月大会、ボルダール競技が行われ、男子12名、女子11名が参加した。

予選はセクション方式70分で、男女それぞれ12課題をトライした。今回はゾーンの設定がなく、決勝への進出は完登数で決定された。スラブ、ハングなど、いろいろな傾斜壁に、コデーネーション系、ランジ系、保持力系などの課題が用意され、選手は各々で相談しながら、課題に取り組んだ。

男子は7完登、女子は8完登に達した選手が決勝へと進むこととなった。

決勝は男女とも、ハング、スラブ、緩傾斜、強傾斜の4壁を、ベルトコ

ンペアー方式でトライした。決勝はルールに即し、完登25点、ゾーン10点、アテンプト数によって減点とした。

女子は第一課題、みんながゴール取りを苦戦する中、狩野が唯一完登し、一歩リード。続く第二、第三課題はほぼ全員が完登。第四課題は横ランジでゾーン取りがとまらず



1位は全国総体(広島県安芸太田町・恐羅漢山・十方山・深入山・三段峡)、2位3位は東海総体(三重県菰野町・朝明深谷・御在所・国見岳)出場。(鈴木重幸)

にいたが、狩野がゾーンを保持で終了。堀内の結果待ちとなる面白い展開。堀内が完登したことで、点数差0.2により逆転で優勝した。

男子は完登者が課題ごとにはばける結果となった。第一課題はハングから飛び出していくルート。ゴール取りでバランスが難しいが3人が完登。第二課題ではゾーンのあるボテに乗り込んで、ゴールを保持する。体勢が難しく2人が完登できた。三課題目はスローパーからのピンチ取りが難しいところだが、3人の完登がでた。最終課題はアンダーで上部へと上がっていくことが難しかった。ゾーン取りが2名、完登は1名であり、全完登を果たした宮川が優勝を手にした。

(岩田幸裕)



第5回理事会

日時 令和7年3月10日
18時30分～19時30分
会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ
5階 第5会議室
出席者 理事18名中15名
監事2名中2名
理事 木ノ内高嘉、鈴木重幸、内海廣治、滝田博之、小林久二彦、増田浩二、篠崎勇、大石幸男、出利葉義次、鈴木雅春、中川清、加藤敏美、小林玲子、岩田幸裕、諸戸明
監事 前川朝夫、望月保男
挨拶 木ノ内会長
1各委員会報告
(1)指導・遭難対策委員会
・1月26日に指導者研修会(兼スポーツ指導者資格更新研修会)が「あざれあ」で開催された。指導員16名、一般12名、役員6名、計34名が参加。研修は「静岡県の山岳遭難・事故報告」「山岳事故の法的責任」「セルフレスキュー・シミュレーション」の三部構成であった。
・雪山登山教室が座学2月12日に「あざれあ」で、実技が2月23日に蓼科山

で行われた。参加者17名、指導者2名、計19名が参加。実技では途中で不調者が出て、11名が登頂。「宝永」No.50と令和6年度遭対事業報告「参加者16名・指導者2名」で数字が異なる。
・2月16日にアイスクライミングを三ツ峠で実施。比較的すいていて参加者に好評だった。
(2)競技委員会
・12月8日に高草山を会場に、「第1回TAKAKUSA山岳レース」を実施。少年男子11名、少年女子8名、役員8名が参加した。
・2月11日、スクエアコンにて「クライミングコンテスト2月大会」を実施。男子14名、女子12名が参加し、リードの登りを競った。
(3)国際委員会
・5月30日～6月22日、「バルトロ氷河トレッキング」を計画。7名の参加で、12月10日に参加者説明会、1月22日に参加者打合せ会を実施。
(4)日山協理事について
・東海ブロックから愛知の星副会長を推薦する。
2各委員会事業計画

(1)指導・遭難対策委員会
・来年度の登山教室の夏山と秋山の一本化を検討。
(2)競技委員会
・来年度の国スポは滋賀県が会場(10月3～5日)。県予選は4月26日実施予定。東海ブロック大会は静岡が担当で、7月19・20日に実施予定。
(3)国際委員会
・「バルトロ氷河トレッキング」を7名の参加で実施予定。3月1日に打合せ会を行う。
(4)令和7年度スポフェス
・10月中旬の予定で、水ヶ塚周辺で実施予定。東部の富士宮山岳会が担当。
(篠崎 勇)

第6回理事会

日時 令和7年4月21日
18時30分～19時30分
会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ
5F 第5会議室
出席者 理事18名中14名
監事2名中2名
理事 木ノ内高嘉、鈴木重幸、内海廣治、滝田博之、小林久二彦、増田浩二、篠崎勇、大石幸男、鈴木雅春、中川清、加藤敏美、小林玲子、岩田幸裕、諸戸明
監事 前川朝夫、望月保男
司会 滝田事務局長
開会を宣言し木ノ内会長兼理事長の挨拶を求めた。
挨拶 木ノ内会長
新年度に入り、急に夏日となるなど天候が安定しない。この理事会も改選時期だが、2名の退任以外は、再任の見込みで、体制は大きく変わらない。
24に急遽東海4県の理事長WEB会議を実施することとなった26年に愛知県で開催するアジア大会のスポーツクライミング競技実施に係る情報共有が目的。他県での運営協力
が主な内容となる。
木ノ内会長が議長となり議事進行。
1各委員会の報告
(1)指導・遭難対策委員会
・なし
(2)競技委員会
・3月20日、令和6年度最後のクライミングコンテストを開催し、男女25名が参加した。
2各委員会の事業計画
(1)指導・遭難対策委員会
・12/7山レスキュー講習会を開催する。開催要項のとおり。
・本県でコーチ1養成講習会を開催する。ただ5名以上の参加がなければ開催しない。
(2)競技委員会
・26に国民スポーツ大会県予選会を開催する。成年男子3名成年女子4名をはじめ少年、ユースを含め計28名がリード、ボルダールで会場を分け、競技する。
3令和7年度通常総会
・17(土)、アザレア5階第3会議室で通常総会を開催する。
・当日の役割等を確認する。司会：滝田事務局長、開会の辞：内海副会長、議長：会長、事業報告：計画：全体を事務局長、委員会報告を各委員長、会計決算報告：事務局長、監査報告：望月監事、スポフェス：小林理事、閉会の辞：事務局長
・令和8年度のスポフェス登山大会担当は調整中とする。(順番だと中部ブロック)
・スポーツ協会のスポフェス打合せを17三島で開催。
・事業報告の内容を確認

し、誤字・脱字について原稿修正をお願いする。
・決算報告、
秋山教室は新人コーチの養成のため、厚くコーチ配置したことで約2万円の赤字。県連盟のカレンダーの収益が5万円余。管理費は、日山協から7万円、特別事業基金の取崩しで6万円を充てているが、10万円の赤字。カレンダー以外に事業収益はなく、今後も基金取崩しで対応せざるを得ない。
・会計監査では、日付誤りや入力数字ミスなど一部書類の不備を指摘された。
【質疑】
・講師謝礼について、事業ごとにまちまちで統一的扱いが必要ではないか？
・遭難対策基金があるが、県連盟での使用は想定できない。名称変更すべきでは？
・謝礼については、事業の実際の収支見合いで定めていた点があり、標準的な定めを今後検討していく。
遭難対策基金は、静岡市と清水市が合併する時、清水山岳協会の解散が決まり協会の遭難対策基金(2ページへ続く)